

【創造】【充実】【発展】 高い志と思いやりの心を持ち、自ら学びたくましく生き抜く生徒の育成
 ～ 笑顔と感動のあふれる大潟中 ～



サルビア

大潟中学校
 学校だより
 NO.7 R5.11.27
 文責 小野貴幸

令和5年度ICTを活用した授業改善事業

大潟中学校公開授業及び研究協議会

秋田県教育委員会の研究指定を受け、本校では令和3年度から3年間の計画で『ICTを活用した主体的・対話的で深い学び』につながる授業づくりを目指して研究を進めてきました。その研究の最終年度として成果を発信するために、11月17日(金)に公開授業及び研究協議会を行いました。2年生と3年生の授業を公開し、研究協議会を行い、県内外から約50名の先生方が参集またはオンラインで参加しました。

第2学年の社会科の授業では、ICTを活用しながら「中部地方の各地域で産業が発達してきた理由」について、みんなで考えました。一人一人が自分自身の考えをもった上で、グループまたは全体で積極的に意見交流を行い、協力して考えを深めることができました。2年生の学習に対する向上心が高く、協力的な雰囲気がよく表れていた素晴らしい授業でした。

また、3年生の音楽科の授業では、自分で創作した絵画をもとに作曲するという、とても難度の高い学習に取り組みました。絵画のイメージと旋律、音色、リズム、速度、強弱の変化が生み出す特質や雰囲気を関わらせた音楽をつくるためにはどうすればよいかを、グループで協力しながら考え、創作表現を創意工夫することができました。参観した先生方からは、美術に音楽を融合させたまさに「芸術」という名前がマッチする素晴らしい授業だった、そして授業構想のアイデアもさることながら、生徒たちの表情、学習に取り組む姿勢などを絶賛するお褒めの言葉をたくさんいただきました。

本校生徒のみんなで協力して課題解決しようとする姿勢、思考力や表現力の高さ、そして3年間の研究の成果を十分に披露できた1日だったように思えました。



《2年生 社会科の授業の様子》



《3年生 音楽科の授業の様子》



校外体験学習

10月11日に1年生の校外学習、11日、12日に2年生の宿泊体験学習、職場体験学習を実施しました。1年生は、「自立への第一歩～ふるさと秋田のよさに触れ、高めようチームワーク～」のスローガンのもと、角館榊細工伝承館、武家屋敷を見学し、角館の古き良き伝統に触れました。わらび座ではミュージカル「ワンス アポン ア タイム イン アキタ」を堪能しました。

2年生はグループで立てた計画にしたがって各事業所を訪問し、職場体験学習を行いました。宿泊所であるユースパルでは、規則正しく生活することの大切さ、集団生活の意義などを学び、寝食を共にすることを通して、更に友情を深めることができました。2日目は、AOW風みらい館、サンセットパーク洋上風力、秋田地方検察庁を訪問し、日常生活では知ることができない職業について学ぶことができました。

活動を通して生徒一人一人の仲間意識が高まり、各学級の絆が更に深まったように思えます。今回の体験活動の成功および、生徒一人一人の活躍を皆で認め合い、今後の学校生活の大きな糧としてほしいと思います。



【県立大学を訪問して】 2A 三〇 〇葵さん

大学のキャンパスはとても大きく、たくさんの学生たちが歩いていました。准教授に話を聞いて分かったことが2つあります。一つは「プラスチックは悪くない」ということです。プラスチックは軽くて、安いというのを売りにしている素材です。どうしてプラスチック問題が話題に出てくるのかというと、それを使っている人たちに問題があるからです。

二つめは、そのような人たちが原因で鳥や魚などの動物がたくさん死んでいるということです。動物はえさと間違えて食べてしまうので、プラスチックを使うときは、本当に気を付けなければならないと思いました。

【榮太楼を訪問して】 2A 進〇 〇衣さん

トピコの榮太楼で働いている店員さんは、明るい笑顔で話しかけてくれました。おすすめの商品は、1カ所だけではなく、何カ所に置いたり、お客の視線の高さや照明の当て方などを工夫して展示していることが分かりました。本店では工場を見学し、お菓子の作り方や歴史などについて説明してもらいました。榮太楼の社長さんが、中学生の時期にやっておいた方がいいことをアドバイスしてくれました。今からやれることには積極的に挑戦し、自分の好きなことを大切に、将来のことを考えていきたいです。

【2日間を通して学んだこと】 2A 前〇 〇久さん

電車やバスに遅れたら大変なので、常に時間を意識して行動しなければならないと思った。どんな仕事でも、人とのコミュニケーションが大切だと思った。一人ではできないことがたくさんあるので、人と協力することが大切だと感じた。意識して人と会話をしていくことで、お互いの距離が縮まり、接しやすくなるので、これからそうしていきたいと思った。

【フィデア情報総研を訪問して】 2A 戸〇 〇聖さん

フィデア総研を訪問して次のことが分かった。
 ・使う人のことを考えて、UI(ユーザーインターフェイス)に気がついてシステムを作っている。
 ・システムも大事だが、人との対話が重要であること。
 ・ノー残業デーの張り紙があった。働く人のことを考えている会社だと思った。
 目的を達成するまでに、本職以外の知識や技術が必要になることがあるので、いろいろなことを身に付けていきたい。

